

第21号 2021年3月発行

# 沼間小学校区地域連合会だより

## (住民自治協議会)

発行責任者 会長 曾志 光子



会長  
曾志 光子

### ごあいさつ

新型コロナウイルスの感染が続く中、皆さま方におかれましても、何かとご不自由な生活をお過ごしのことと思います。

当会もこの影響を受け、2020年度の活動は大きく制限されました。

感染防止対策として、5月の書面による総会からスタートし、その後皆さまのご理解とご協力をいただきながら、消毒液や体温計を用意したり、広い会議室を確保したりして、できるだけ顔が見えて、意見を直接交換できる代表者会議が行えるよう努めてまいりました。また、役員会についても、オンラインで開催するなどの対応をしています。

事業への取組みも、会合や活動の制限等で、当初計画から遅れる状況となりましたが、その一方で、「がけ崩れ対策」への活動が、神奈川新聞やNHKテレビで取り上げられ、皆さま方への周知が図れたことは嬉しいかぎりです。

今回発行する連合会だより21号では、この一年間取り組んできた主な事業の概要を掲載致しましたので、どうぞご覧になっていただきたいと思います。2021年度も厳しい状況が続くと思いますが、当会は、地域の課題に対してできることから取り組んでまいりたいと思います。引き続き皆さま方のご参加・ご理解をお願い申し上げます。





## 崖崩れ注意箇所対策

防災安全部会 / 磯部 保和



当地区は周囲に山が多く、崖崩れに注意すべき箇所が多くあります。当会では、2015年度に、自治組織である会員から提出していただいた注意箇所(44箇所)について、直接実地調査し、その中の5箇所について、市に対策要望を出しました。当該箇所については、2019年7月までに対策が実施されました。昨年、池子で起きた崖崩れ事故を契機に、再度会員に注意箇所を提出していただきました。今回は28箇所(再調査を含む)の調査依頼が寄せられました。防災安全部会で実地調査をしたのち、前回の調査を含めたすべての情報を市に伝えました。今回は、当会では危険度を判断せず市に伝えました。



## 防災対策の見直し

防災安全部会 / 石井 義晴

台風や大雨時の避難に関する情報の共有について検討してきました。とりわけ高齢者など支援を必要とする方々を念頭においています。先行する自治体や団体の事例を参考に、どこの避難所に、どのタイミングで、何を持参していくか、誰と連絡するかなどをあらかじめ記入する「避難行動計画用紙」を作っています。会員や関係者のみなさんと相談しながら作り上げ、周知を図っていきます。



## みまもりネットワーク

福祉部会 / 坂口 敏子

コロナ禍での外出自粛中で高齢者との関わりが非常に減っています。

地域サロン活動も休まざるを得ず高齢者センター、沼間コミュニティセンターが休館状態です。

高齢者の見守り訪問もインターホン対応や、メモのポスト投函等、なるべく対面会話をしないようにしていますが、いつでも「お困りごとには対応できるように」見守りと安心をお届けしています。

「ポストに入っていたメモを見て、相談してみようと思った」と電話があったり「ずっと家にいて誰とも話をしていない!」と玄関を開けてくれたり、私達の見守り訪問を心待ちにしてくれているのを実感しています。日曜日に急を要する相談があり、行政機関が休日で対応出来ず、民生委員2名で対応した事もありました。「〇〇さん、来てくれて助かったよ」の一言に私達は報われています。これからも地域の相談役で頑張ります。





## わんわんパトロール

青少年部会 / 曾志 光子



防犯抑止力の取り組みの一つとして、昨年度よりわんわんパトロールを実施してきました。わんちゃんが主役で行うパトロールです。飼い主さんがいつも通りのわんちゃんの散歩をすることで、子供たちや皆様を守ることができるという活動で、全国に広がっています。



現在、当地域で22頭のわんちゃんが隊員となっております。パトロールグッズを介してわんちゃん友達の輪が広がっています。ぜひ、あなたのわんちゃんも隊員になってみませんか？申込みは事務局まで。



## ずし子ども0円食堂

草柳 ゆきゑ



コロナ禍で活動が10月まで休止してました。その間もスタッフは再開時に向け議論を交わしアイデアを捻りだしQRコードを使って子供のみ20名限定の予約制で実施しました。



当日は衛生管理と時間の短縮を図りながら久しぶりに会う子供達もスタッフも笑顔があふれていました。参加人数は予想より少なかったのですが、却ってソーシャルディスタンスがしっかり保て良かったです。規制緩和になり平常運営をスタッフ一同待ち望んでいます。



## 東逗子駅前ロータリー美化

環境部会 / 工藤 嘉明



JR東逗子駅前ロータリーの美化に取り組んで約4年半の月日が過ぎました。季節ごとに花を植え替えたり、定期的に雑草を取ったり、水を撒いたりしています。以前は散乱していた空き缶やタバコの吸殻もほとんどなくなり、活動の成果が目に見えるようになりました。

これからも駅前ロータリーの美化運動を続けてまいります。東逗子駅をご利用の皆さまの心の安らぎにつながれば幸いです。





## 道路渋滞緩和対策

工藤 嘉明

当地区の県道24号線では、しばしば渋滞が発生します。自分たちでできる取り組みとして、「右折車に道をゆずる」という意識喚起のために、当会で電柱広告とバナーフラッグを取り付けました。本年度は傷んだバナーフラッグの一部を取り替えました。ゆずってくれる車両が増えて、渋滞が緩和されたように感じられます。



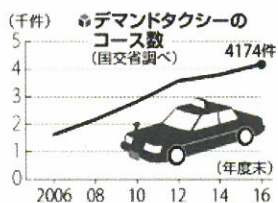
## 地域の公共交通の充実

まちづくり部会 / 菊地 透



滋賀県大津市のデマンド型乗合タクシーの事例: MONET Technology TOP より抜粋

当地区では、高台にある住宅が多くかつ住民の高齢化が進んでおり、日常の移動手段の確保が深刻な課題となっています。そこで当会は、2019年8月に「公共交通の充実に向けた嘆願書」を市に提出し、その後の逗子市環境都市部と協議の結果、デマンド型乗合タクシーの導入が適切と判断しました。アーデンヒル・南台地区をモデル地区として、アーデンヒル自治会、環境都市部と当会の三者で、実証試験の実施に向け数回の検討会を実施しました。2020年年頭には、令和2年度逗子市予算への実証試験費用計上が図れ、年度内の実証試験実施を進めることになっていました。



デマンド型乗合タクシーの状況: 読売新聞オンライン滋賀版より抜粋

しかし、新型コロナウイルス感染の急拡大により計画が大幅に遅れており、活動が停滞していますが、まずはアーデンヒル自治会による住民への実証試験の周知、意見集約を実施することになっています。それを基に、ルート、停留所、運賃、運行時間等の諸条件を決め、2021年度中の実証試験実施を図って行く予定です。

### 役員紹介



会長 曾志 光子



副会長 工藤 嘉明



副会長 森谷 仁



事務局長/会計 磯部 保和



書記 江連 信哉



役員 石井 伸雄



役員 高木 伸一郎



役員 杉山 建雄



役員 服部 誠



役員 高橋 正好



役員 武藤 浩二

## 当会の定例会議

### ■代表者会議 (沼間コミュニティセンター)

第4土曜日 15:00~17:00

### ■役員会 (桜山ハイツ集会室)

第3金曜日 19:00~21:00



事務局(沼間コミュニティセンター内)

住 所: 逗子市沼間3-16-32

電話・FAX: 046-872-3277